



よ ば てんびょう 四つ葉点描

教育目標 「美しく生きる」



四日市市立中部中学校

令和6年4月11日

第1号

ちゅうぶちゅうがっこう さいじょうい もくひょう
中部中学校の最上位目標

じりつ
自律

きょうせい
協生

そうはつ
創発



れいわ ねんど ちゅうぶちゅうがっこう あら ねんせい めい むか ぜんこうせいと めい
令和6年度の中部中学校がスタートしました。新たに1年生93名を迎え、全校生徒293名+
きょうしきいん きやすと りにゆーある おーぶん ことし ものがたり たの
教職員40名のキャストによるリニューアル・オープンです。今年は何んな物語が生まれるのか、とても楽し
みです。新入生とその保護者の皆さん、新しい風を中部中に吹かせてくださいね。



せいかつ まな み つ 中学校生活で何を学び、何を身に付けるのか

しぎょうしき ねんせい ひとりひとり きょねん おな よ つく はなし
始業式では2・3年生に、一人一人が去年と同じままでは「より良い学校」は創れない・・・という話を
しました。入学式では1年生に、「答えを教えてもらうのが勉強ではない。」と話しました。

きょくたん い きょうしつ おお はこ たの いごこち がつきゅう はじ ようい
極端なことを言えば、教室はただの大きな箱です。楽しくて居心地の良い学級が、初めから用意されて
いるわけではありません。楽しくて居心地の良い学級を創るのは、たまたま偶然同じクラスになったみなさん
です。言い方を変えれば、クラスが面白いのか、つまらないのかは、誰のせいでもなく、そのクラスのメンバー
全員の行動・ふるまいが決めることになります。

中学校生活で学ぶことは、9教科の勉強だけではありません。

➤ 集団を創る力 集団の中で自分の力を発揮する。

集団を維持するために周囲に注意を向ける。

集団のために、できることを考えて実行する。 などなど も学んでいます。

※ このことは、3年生の学年集会や入学式前の吹奏楽部でも、先生から話がありましたね。

ヒトという生物が、集団生活を強みとして生存していく以上、『集団を創る力』は、身に付けなければならない力です。これを中学校3年間で、ある程度まで身に付けてほしいと思っているのです。

中部中学校生徒の「めざす姿」とは

中部中の学校教育目標は、『美しく生きる』です。これを実現するための「めざす生徒の姿」を、「自律」「協生」「創発」としました。

自律：自分で考え、判断し、行動する生徒

協生：多様性（個性や違い）を強みとし、対話を通して協働・共生（協力して生活）する生徒

創発：（一人一人の）発想や能力をかけ合わせ、新たな価値（より良く、美しく）を生み出す生徒

1年生のために優しく言い換えれば、「自分がやる」「みんなでやる」「より良くする」ということです。

2, 3年生の皆さんは、「（先生に言われなくても、自分たちの力で）今の状態をもっと向上させる」ということです。1年生のまま、2年生のままでは成長しませんからね。

学年集会や学活、部活動の時間など、先生からの話を聞く機会がたくさんあるでしょう。その話の内容をしっかりと聞き、

「自律」「協生」「創発」のどれかにつながっているはずですが、

ただ、口を開けてエサをもらうのを待つのではなく、自分と仲間との力で、やりたいこと、やるべきこと、やったほうが良いことをどんどん見つけて、考えて、実行していくと、中部中学校は、素晴らしい学校になると思っています。



新入生を迎える会 4月9日

早速、主体的な取り組みが始まっています。新入生を迎える会では、新しい試みとして、学校紹介〇×クイズが実施されました。中部中学校の多様性の柱である、難聴学級、ワールド教室の代表から、全校生徒に向けて、メッセージが送られました。

このような大きな舞台だけでなく、もっと小さな日常の中に、あなたの出番が待っています。「ありありなんやっ！」の考え方で、まずは、いろいろやってみましょう。

